



電子内視鏡は、かなり細いタイプに



新たに導入された超音波画像診断装置



電子内視鏡の先端部  
左が今回導入したもの

国保医科診療所に、このたび新しく「電子内視鏡」と「超音波画像診断装置」が導入されました。「電子内視鏡」いわゆる胃カメラは、左の写真のように従来のものと比べるとかなり細い型のものになり、身体的な負担が軽減されるに検査を受けられるようになりました。

また、「超音波画像診断装置」いわゆるエコーは、心臓や腫瘍などの血流状態を観察できる機器で診断精度の向上が期待でき、そして、CTスキャンのようにX線を使わないことから、女性や子供の検査もしやすくなりました。

こうした検査機器の導入で、より一層病気の早期発見、早期治療が可能となりますので、皆さんも早期受診に心がけましょう！

### 編集後記

▼表紙の写真は、植樹祭での一コマ。植樹のシーンを撮ろうとカメラを向けていると、左右から顔が出てきたので、思わずパチリ…。馬場川小学校緑の少年団のお二人に不意を突かれてしまいました。悪天候の中、子供たちの元気に完敗です。ホンとこの日は寒かった…。▼今回は、ミニドックの結果についてご紹介しました。受診した約4割の方に何らかの異常が発見されたようで、精密検査を指導された方もいるようです。この間、診療所を訪れたときに、村上医師が「いかに早く見つけるかで、病気の治る確率が大きく違ってくる…」と言っていました。診療所にも精度の高い診断装置が導入されましたので、機会があったら検診などで、自分の体をチェックしてみたいかがですか？▼今年もYOSAKOIの札幌大会に行ってきます！（参加スケジュールはHPで公開）今回は、2年ぶりにハンフォードの皆さんも参加するので、賑やかになりそうです。私は記録係ですが、いつも大通りのパレード（動きながら5回連続で踊ります）は踊り子を追っかけて動くので、毎年、酸欠状態…。今年はしかもそのパレードが2回も！！美味しいビールが飲めそうです…。(尾)